

い な づ ま

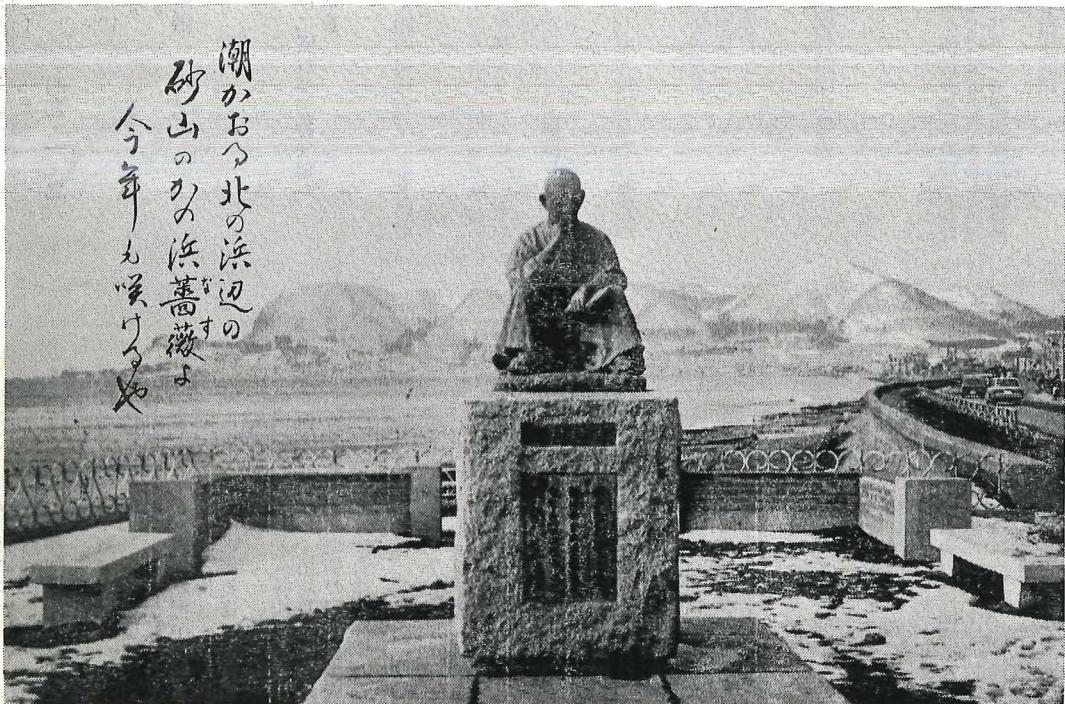
題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集広報部

住所 函館市新川町31番11号

印刷所 有限会社 豊国堂印刷



【石川啄木銅像】 石川啄木が首指社（ぼくしゆくしゃ）同人を頼って函館にきたのは明治40年5月5日であった。

商工会議所の臨時雇や弥生小学校の代用教員となり、やがて郷里から妻子や母を迎えて、青柳町の借家で同年8月25日夜の大火で職と住を失い9月に札幌へ転居するまで生活した。

函館の生活は130日余りにすぎなかったが、歌集『1握りの砂』には在函当時の印象をこめている。

上記の歌のかつて砂山であった渚に銅像と詩碑が建てられたのは昭和33年である。

4月13日は啄木忌である。

函館地方電気サービス センター発足

伊東幾郎

かねて懸案の電気サービスセンターが三月一日より発足いたしました。

センターの設立の趣旨ならびに目的については種々の会合の都度説明した通りであります。が、要は一般需用家の適正配線、電気保安を通じて需用家へのサービスによって地域社会の要請に貢献すると共に、組合員相互扶助の精神に基き組合員の協調によって電気工事業界の社会的地位の向上をはかるのが目的です。当組合の場合既に数年前より本州各地の状況など研究して設立の準備をしていたのですが、連合会の意向もあり今日まで延びのびになつたわけですが、札幌地区が開設の運びとなりましたので当地も発足を見るに到つたわけです。

現在市内加盟店業者三十三社の協力を得て業務を始めおりますが、内部態勢がとゞのい次第近日中に諸官庁ならびに、関係諸団体によりかけ説明会を開催する予定であります。今後センターを足がかりとして、電気工事業の合理化、しつゝは協業化に発展する様、皆様の御協力を切望してやみません。



役員会だより

第九回役員会

一、慶電報告

四九・一・二六

坂村電気商会

尊父死亡

竹田電機商会

三水会提出議題の件

㈲光電機

長男結婚

一社二十万

三水会提出議題の件

二社貸付報告

三水会提出議題の件

三水会提出議題の件

三水会提出議題の件

四社(イ)引込工料のアップ並びに資材業者持要望

四社(イ)引込工料のアップ並びに資材業者持要望

五社(イ)電設書類の適正なる取扱

五社(イ)電設書類の適正なる取扱

六社(イ)委託業務の保障問題

六社(イ)委託業務の保障問題

七社(イ)工業総代会出席の件

七社(イ)工業総代会出席の件

八社(イ)北口全日電工連理事の講演会出席の件

八社(イ)北口全日電工連理事の講演会出席の件

九社(イ)アルミ電線講習会の件

九社(イ)アルミ電線講習会の件

十社(イ)工業総代会報告

十社(イ)工業総代会報告

十一社(イ)伊東理事より引込工料が連合会で討議された報

十一社(イ)伊東理事より引込工料が連合会で討議された報

十二社(イ)引込線取扱工事業者を選出してほしい

十二社(イ)引込線取扱工事業者を選出してほしい

十三社(イ)各担当理事報告

十三社(イ)各担当理事報告

十四社(イ)業務一保守センターの経過報告

十四社(イ)業務一保守センターの経過報告

十五社(イ)訓練一技能五輪の準備報告

十五社(イ)訓練一技能五輪の準備報告

十六社(イ)労務一労災保険の経過報告

十六社(イ)労務一労災保険の経過報告

十七社(イ)三水会提出議題

十七社(イ)三水会提出議題

十八社(イ)熊石電業社

十八社(イ)熊石電業社

十九社(イ)新年会経費明細報告

十九社(イ)新年会経費明細報告

二十社(イ)賃付報告

二十社(イ)賃付報告

二十一社(イ)高圧氣中開閉器について

二十一社(イ)高圧氣中開閉器について

二十二社(イ)工量制講習会開催

二十二社(イ)工量制講習会開催

三、議事(組合側より提出)

二、水会報告

三、水会報告

四九・三・五

出席者

北電側
村山支店長・石田・齊藤兩次長・松本営業課
長木村料金課長・新崎資材係長・伊藤営業
係長・青塚料金係長・池浦配電係長・田中工
事係長・中村営業係員

於 北電四階会議室

司会
猪股
一、挨拶大倉理事長
大倉理事長

二、議事(北電側よりの提出)

(イ)電気使用制限規則について

(イ)引込線の取付点について函館地区の引込線取付

点が全道的にみて一番低い。その為断線事故等

があるのを必ず守るよう

との事、道路横断・隣接等の説明あり。

(ハ)検満工事の促進について

(ハ)年度もよろしく御願いしたい。で四十九

工業組合総代会報告

四九・二・二二

(イ)第十回の役員会で決定した提出議題の内(イ)につ
いては明確な解答は依然として出なかつた。(ロ)については末端の電業所にもよく伝達する。
内(イ)については説明があつた。

(ハ)登録者以外の下請の不可

(イ)主任電気工事士の不在並びに代表者が主任工
事士を持って居ると云うだけに現場に居らば雜
務をして居り現場の状況が把握されて居ない。

(ハ)登録票板の表示の不備

(イ)図面・書類の保存整理の不良

(ロ)計器類の不備

(ハ)登録者以外の下請の不可

(イ)主任電気工事士の不在並びに代表者が主任工
事士を持って居ると云うだけに現場に居らば雜
務をして居り現場の状況が把握されて居ない。

(ロ)登録票板の表示の不備

(イ)図面・書類の保存整理の不良

(ロ)計器類の不備

四、懇親会

(イ)第十回の役員会で決定した提出議題の内(イ)につ
いては明確な解答は依然として出なかつた。(ロ)については末端の電業所にもよく伝達する。
内(イ)については説明があつた。

(ハ)登録者以外の下請の不可

(イ)主任電気工事士の不在並びに代表者が主任工
事士を持って居ると云うだけに現場に居らば雜
務をして居り現場の状況が把握されて居ない。

(ロ)登録票板の表示の不備

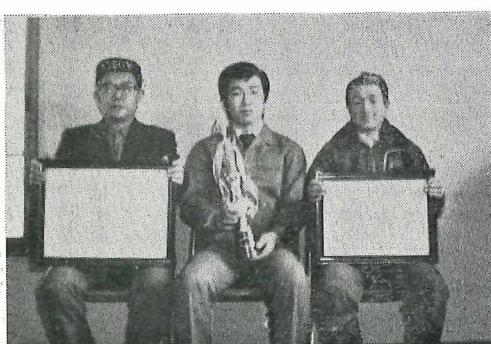
(イ)図面・書類の保存整理の不良

(ロ)計器類の不備

組合行事

1月12日	中支部定例会議
1月18日	北支部定例会議
2月2日	第一回札幌連合会役員会
2月4日	職業訓練指導員(四十八時間)訓練
2月6日	事務所建設委員会議
2月7日	第九回役員会
2月11日	新年宴会於旭館
2月14日	東支部定例会議
2月16日	函館地方電気サービスセンター発足説明会
3月1日	函館地方電気サービスセンター発足説明会
3月4日	事業内訓練団体生活訓練
3月5日	訓練校技能照査(学科の部)
3月7日	訓練校指導員再訓練
3月11日	福島支部定例会議
3月14日	訓練校技能照査(学科の部)
3月16日	訓練校指導員再訓練
3月19日	北電亀田電業所新社屋落成パーティ
3月21日	訓練校技能照査点会議
3月22日	中渡島支部定例会議及研修旅行
3月24日	技能五輪出場者特訓
3月25日	訓練校技能照査(実技の部)
3月27日	訓練校技能照査点会議及び主任会議
3月1日	四十八年度全道技能競技大会於札幌市
3月1日	第二回連合会役員会於札幌市
3月1日	工業組合総代会
3月1日	札幌連合会総会
3月1日	四十八年度技能五輪南北海道大会
3月5日	於苫小牧市
3月5日	通産局及支厅、業法立入検査
3月11日	第十四回役員会
3月11日	道技能大会出場者特訓
3月11日	「これから電気工事業界」講演會於オーラ
3月11日	ランド十勝電気工事協同組合二十周年記念式典於
3月11日	帯広市
3月11日	東支部定例会議
3月11日	四十八年度技能五輪、道技能大会入賞者表
3月11日	彰式於札幌市
3月11日	アルミ電線の技術講習會於共愛会館
3月11日	テレビ受信システム講習會於共愛会館
3月11日	中渡島支部定例会議

快挙！技能五輪一位に輝く



去る三月八日午前十時より札幌市北海道経済センターハ階Aホールに於て、技能五輪大会及び全道技能コンクールの入賞者に対する表彰式が行われた。

大会長賞、知事賞、メダル、トロフィー、表彰状等の授与が延々一時間三十分も続き、栄ある名譽を手にした選手達は感激のあまり、手には感涙のるゝを紅潮させていた。

全道技能コンクールでは残念ながら函館地区は入賞を逸してしまったが、技能五輪大会では南北海道第一位に当たる上磯町平野組合訓練校生である上磯町平野電気工業所勤務の木下久弥君が入賞した。

木下君は勤務先が上磯町である訓練センターの木下久弥君が入賞した。

木下君は勤務するにもかゝわらず、夜は市内東川町にある訓練センターに通い一生懸命、学科に実技に精進し、将来有望な少年である。

事業主の平野金之助氏も当業界では古参の技術屋で優秀なる組合員であることは周知の通りである。木下君は来る五月中旬、全日本技能五輪大会(千葉)に出場して、世界の舞台で腕を競うための資格を取得すべく目下、懸命の努力を続けている。皆様の心から応援をねがう次第である。

北支部定例会議及び北電設計書、臨時灯説明会、中支部定例会議及び北電設計書、臨時灯説明会

サービスセンターア出路保守工事打合会議出席者、市役所、市会連合会、北電、組合

訓練団体代表者及び事務長会議請自工事スライド制に対する意志統一会議

いなづま編集会議

組合員の異動変更事項

(住所変更)

(新)

(旧)

沢田電工舎
函館市東山町八九一八

函館市千代台町五一九

(電話変更)

中野電気商会
鹿部二〇七二番

鹿部七二一番

小林電気商会
鹿部二〇五五番

日本電機保全株式会社
鹿部五五番

(二六)一二八八番(代表)
(二三)五二九一番

組合員消息

◎ 一月十一日 (角手塚電気 手塚勲氏尊父死去)

◎ 一月十九日 (角光南電機 横井雄吉氏長男)

◎ 一月十七日 竹田電機商会 竹田幹雄氏 尊父死去

○ 一月三十一日 (角光南電機 横井雄吉氏長男)

結婚

○ 三月八日 熊石電業社代表者 手塚竹四郎 氏死去

○ 三月八日 成田電気工業所 成田一房氏 氏死去

技能五輪大会観戦記

平井行衛

去る二月二十四日道立苫小牧職業専修訓練校に於いて、渡島、松山、胆振各地区選手の技能五輪道大会が挙行された。

当組合では年令、技倅、日時等を考慮し主に当訓練校の生徒を中心に選考した結果、新鋭六名を選抜し大会に臨んだ。

その結果、『優勝』平野電気木下久弥君、『四位』川村電気川村竹光君の入賞をかち得た。

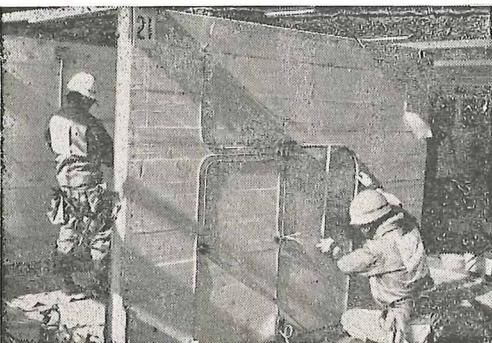
当日大会場は担当の南北海道電工協組の星理事長はじめそれべく、実行役員、組合員の周到な計画と準備の下に整備され、紅白のまん幕を引巡らせ作業板が並び工具材料が配置されて早くも競技の熱気が横溢して、地元、十七名を含めた計二十三名の新進気鋭の若い技能者達も、日頃の技倅を遺憾なく発揮すべく決意を秘め○堅く斗志充分である。

さて大会実行委員長である地元星理事長のあいさつ審査委員長の北電苫小牧営業所次長岡林文雄氏の諸注意、選手代表の宣誓のあと午前九時より十二時までの制限時間による競技がホイツスルの合図のもとに開始された。

先づ各選手とも一様にチョーク等で墨出し芯を決めり、決める、早くも上気しトチるものもいる。俄に騒がしくなる、ボソクスを取り付けるもの、VVF配線から始めるもの、金属管工事にとりかゝるもの等々、各人各様である。

作業課程の中で審査員達は選手の間を廻り、手順方法等を些細に覗て減点チェックを始める、工具を乱雑に放置するもの、トーチランプを壁面に向けるもの、電線材料を足で片寄せる者、安全作業の基本をふまえているかどうか、等を重点において作業過程の中でしか採点できぬ個所をキビシクみていく訳だ。

年若い選手達は冷静ではあり得ない、何れも上気し作業の中で手段を考へ、方法を手探りつつアレもコレもと思い巡らす。夢中である、手早い者がいる、動作



が活潑でリズムに乗って来る、ボックスの次に配管、終れば合成樹脂管、延線と全く壁にする。他の者も負けじと続く、気魄と熱氣は見学観戦者を圧倒し感嘆させ、だが中にはトチるものも出て来る、金属管のS曲りがうまく曲らない、ビニール管を焼け損じる、ルールとして材料は再支給せぬことになっている、どうも仕様がない、仕損じはその便に次の工程に細心の注意を払いつつおし進めてゆく。選手の苦惱の胸中が歴々と引率者には判るのだ、なんとかして肩をたたいて励ましてやり度い、声をかけて慰めたいと思っても厳しいルールの上ではそれも出来なく切歎扼腕の外はない。

選手達の健斗は尚も続く、配線入線を終え結線する頃になると時間差が歴然として出てくる、見学者達は自然に早い競技者の周辺に寄つて来る、選手がやりにくそうだ、審査員が周囲の人達に注意する、遅れている選手は気配を感じる、一層焦る。そして自らを励まし頑張る、尊い気概である、そここうしている内に『出来ました』とやゝ控え目な声があがる。記録係が時間を作業盤に記入する、一時間四十八分、これが今大会の時間記録であった。感嘆と讃辞の声であろうか、一瞬のゆらめきの気分が醸し出されてくる、続いて二番手、三番手と声が掛かってくる、何れも作業盤の墨

出しの線を消し、工具を片付け脚元の作業屑等をまとめて、シートを巻いてから声である。後仕末も安全作業の最も大切なポイントとなっている。何れの選手もこの事柄は指導員にきびしく躰けられているとみえて皆がキチンと行なっている。

三時間の制限時間が刻々と迫つてくる、遂に乗権を申し出る選手が出た。極度の緊張と興奮のあまり気分が悪くなつたそうである、残念であるが致し方もない稍しばらく競技の雑音と緊張の満たされた会場にやがて終了の笛が鋭く鳴りわたる。遂に終つた、やるだけやつた。悔はない。入賞の期待をこめ或は諦めの錯綜した表情のまゝ黙々と工具材料を整理し、又隣の者と出来ばえを評し乍ら選手控室に退場して行く。

選手達の退場した後、審査員六名が審査に入る、それぞれ管、器具の取付、損傷、曲げ、平行性、電線の端子巻き込み等、定められた基準によりくまなく採点する、実に厳しい、作品の類似性による困難さがいや応なく差を曝くかの様に聊かの欠陥を指摘する、みる／＼減点数が加算されて来る、この様なさ細な妥協も許さぬ批判に耐え得たものが入賞の栄誉に輝くのだ斯くて審査員合議の結果が発表される。

我が陣営の木下君、川村君はまさに賞讃に値する、但し決して偶然のものではなく積年の本人の努力と指導員の助言、事業主の理解と職場の先輩後輩の援助等の配慮が栄光をもたらしたものと考へる、又今回は入賞を逸したとは云へ他の選手それべくも、かかる競技に参加し得た幸を謙虚に思ひ到るべきだらう。

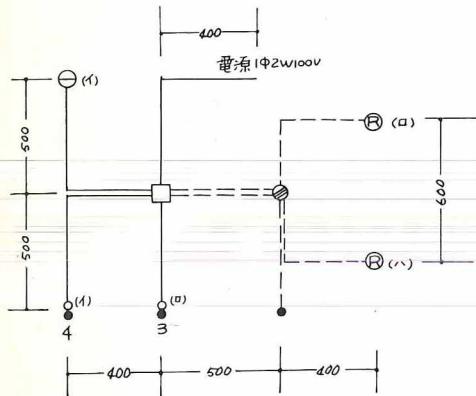
年若い技能者が修練と経験を経て、電設業界に大きな貢献をもたらす才覚をおもうとき、日常茶飯時の中にも私達が致さねばならぬ多くの問題が存在することを併せて感づるものである。



昭和48年度全北海道技能競技大会

〔電工競技課題〕 (制限時間2時間)

【課題の説明及び施工上の注意】



风 例

記号	名称	記号	名称
—	金属管工事	①	F-ケーブル、導体トボク
---	VVF 工事	○	ハーラロットランプ
□	接続箱	●	單極スイッチ
⊖	引掛埋込配管	●3	3路スイッチ
Ⓐ	レセップタケル	●4	4路スイッチ

昭和四十八年度全道技能コンクール（電工部門）は札幌市北電研修所に於いて三月三日行われ、当組合からも技能五輪大会の入賞の余勢を駆って「壮年組二名青年組三名の選手が参加した。
午前九時二十分開会式に続き十時より十二時迄の制限時間二時間にて競技が開始されたが、制限時間内では作業完了が困難との見通しに依り、結局三十分の時間延長となり、十二時三十分競技は終了した。その後競技委員に依り、時間内に作業の終了しない作品及び誤結線のものを除く作品について審査が行われたが残念乍ら当組合から参加した五名全員が失格した。（誤結

- (1)ローゼット \ominus (イ)は単極スイッチで点滅する。

(2)レセプタクル \square (ロ)と \square (ハ)は同時に点滅し3路スイッチ及び4路スイッチの何れからでも点滅できる様にする。

(3)パイロットランプ \circ (イ)はレセプタクル \square (ロ) \square (ハ)が消灯のとき点灯しパイロットランプ \circ (ロ)はレセプタクル \square (ロ) \square (ハ)が点灯のとき点灯す。

(4)電源側では金属管の端を起こして接続に必要な長さだけ引出し芯線を15mm程度出しておくこと。

(5)電線の接続は、圧着接続とし、テープ巻きはしなくてもよい。

(6)金属管の接地は省略する。

(7)指定寸法は器具、管路およびケーブルの中心間の寸法である。

(8)支給材料には余るものもある。

(9)支給材料は不良の場合を除き追加交付はしない。

役員改選迫る

かえりみると昭和四十五年の総会では旧來の理事会の在り方を変へるべく、一般組合員より議長を選出し公開選挙によつて理事を決定、それまでの専務理事を廃し副理事長二名をおくこととし、二十年來の組合理事会は改善されたのである。

しかし四十七年の総会ではこの理事会の在り方にも物足りなさを感じたブロック委員より選出方法をかえる動議が提出され、いろいろと賛否両論の結果單記投票が採用され、その結果においては同点得票五名中三名を抽選で決めると云う異例の選挙が行われ難産のすえ新理事会が決まつたのである。

政府はこのインフレ世相を静めるために頭を痛めて
いるが、今夏の参議員選挙には是が非でも勝たねばならぬと必死である。

当組合でも今年は昨年発足した支部制により、如何なる選挙が展開されるのか組合員の関心の的ではなからうか。

昨年の総会で決定された支部制は七・八月にかけて各支部共発足して誠に喜ばしい現象である。以前のプロツク会議と異なり支部長（理事）が招集をかけ、理事会の報告をする、又支部員の声が即理事会に伝わることもあってか各支部共出席率は八十%強という現状である。通常会議のほかに忘年会、新年会と親睦を深め、ある支部では会費積立をおこなって研修旅行を行つた処もある、どうやら支部制も徐々に軌道に乗つた感じである。しかしここに一つの問題が浮かんで来た。今後の役員選出方法である、巷の声をきくと各支部長は即理事という事で八名の支部長理事が決まつた後の残り九名の理事幹事の選出方法がどうなるかと云う問題である。

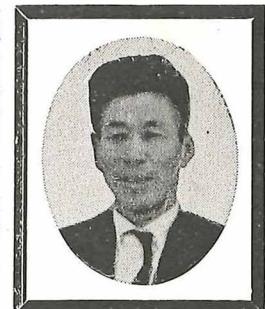
おがめ八日

については各支部毎に選出し、残り六名（内幹事二名）は市内在住組合員の中より公開選出するというのである。

いづれにもせよ、組合理事ともなれば自分の事業のほかに組合の世話役としての仕事が大きくなるしかつて来ることはまぬがれない、組合理事として充分な働きをしてもらう為には、体力と時間の余裕がなければ選ばれた理事が可哀想である。

役員会に於いて一言の発言も出来ず、又問題から外された発言に時間の無駄を意識しない様な理事は一考を要するのではないか、我々組合員の代表として組合運営を一任するのである、いや指導していたゞくのである、だからこそ我々は人物を知り、その能力を知り、安心して組合運営を任せられる理事を選びたいものである。

追悼記



熊石電業社故手塚
竹四郎氏の生前を
偲びつ哀悼の意
をさゝげます。

故人は明治四十二
年七月十五日熊石
町に生まれ、小学
校卒業後家業である漁業自営のかたわら電気工事の技
術を身につけ、昭和三十七年十月熊石電業社を創立、

北電認定業者として当工事組合に加入しました。

爾来一家をあげて事業に専念熊石地方で確固たる地歩
を築きましたが、その後昭和四十五年九月事業の伸展

に伴い函館に転進現在に至ったものです。

故人はあまり健康でなかつたのか、昨年暮頃より身
体の具合がおもわしくなく、去る一月中入院し同三
十日に病院で不帰の人となつたのです。この道十二
年余り、長い間本当に御苦労様でした。故人の御冥福
を祈りつゝ追悼の記といたします。

★
工量制懇談会開催さる

三月二十日午後三時より南北海道電工組担当者を迎え
(室蘭)の星理事長はか工量制担当者四名をまじえ、昨年來発足した工量制のその後の普及状況及びその推進方法の意見交換のための懇談会が開催された。当組合よりは理事長以下理事十四名、支部工量制担当者三名が出席し工量制について活潑な意見交換があつた。当組合の独自な積算方法にくらべ室蘭は『全日電工連方式』に新しい工量制を施行してある訳であるが両組合とも細部の数字は不詳乍ら、工量制の普及率は約二・三〇%位であるとの推測である。現在は低い普及率ながら、工量制を根幹として我々業界の適正利潤を含んだ適正工事費の積算という永年の懸案と、業界のレベルアップを達成することを確認し合って有意義に閉会した。

「研修旅行記」

中渡島支部



「ボーリー」山頂にうつすらと雪化粧をした故郷のア
イドル函館山を背に、我々一行二四名を含めた旅行客
を乗せた青函連絡船十和田丸は、定刻十時五分浅春の
陽さしを一ぱいに受けて、津軽海峡を一路青森港に向
けて出航した。

平素の精進がよいのか、はたまた我々一行の美男揃
いに海峡の女神が魅せられたのか、風雪注意報が全
然気にならないような穏やかな船足に先づは一安心と
云つたところ。

しかし測候所の予報が全く出たらめであろうはずが
なく、青森港に近づくにつれ雪が横なぐりに降り出し
、三沢駅に着いたのは定刻より約十五分遅れの午後三
時三十分頃であった。

敷地十万坪を誇る東北の桂離宮・古牧温泉・祭魚洞
公園の一角にある古牧グランドホテルに旅装をとき、
早速同ホテルご自慢の大岩風呂で旅の疲れを洗
い落とした。

午後五時三十分より同ホテル
会議室において
、地元の東北電力
、三沢電気
、地元の東北電
力、三沢営業所
長、三沢電氣
工業協同組合
の理事長外お二
人の御臨席をお
願い致し、各種
電気工事の届出

支部短信

の方法、材料の支給方法、下げる方法、負担金工事
の方法等(詳細については紙面の都合により省略させ
て戴きます)いろいろな項目について当地北電との取
り扱いの相違、長所、短所等について貴重、かつ活発
な意見の交換、討議を重ねること約一時間三十分、ま
だくつきない項目を心残りにしながらも懇親会に入
った。

数多くの美味・珍味?に『舌つぶみ』をうち作らも
尚未だ意見の交換が絶えず、ようやくホテル差し向け
の民謡と披露で美酒の酔いがまわり午後九時近くお開
きとなつた。

翌十一日早朝、前夜同室のO・Y氏の『往復いびき

』になやまされたねぼけマナコを大岩風呂のナトリウ
ム泉でさなし、滝に肩をうたれて昨日來の疲れをとり
、各自手に持ち切れない程、愛する妻子えのお土産を
求め、三沢駅前にて記念写真を撮り帰路の列車に身を
たくした。

前夜、誰一人悪夢?を働いた憶えもないのに、快晴
の天候も次第にくずれ、津軽丸に乗る頃には約三十分
の遅れとなつたが、妻子との対面を急ぐ一行の思いが
船長に通じたかどうか、荒れる海峡を一気に乗り切
り、恋しい函館の桟橋には定刻より五分遅れの午後四
時到着、かくして全員無事念願の研修旅行を了えた
次第です。

最後にこの研修旅行に当り、貴重なご高見と過分の
志を寄せてくださつた、東北電力、三沢営業所の所長
はじめ、三沢電気工事業協同組合の理事長、副理事長
外組合員の皆様方に厚く御礼を述べて終筆いたしま
す。

随

筆

心にゆとりを

細川政明

狂乱のインフレも稍ト火の傾向にあった此頃再び石油が大巾に値上りした。

あらゆる物価に影響する為、政府は種々対策を樹てゝいる様だが又かと云う国民の不安は大きい、特に毎日に深刻化していく経済の亀裂は昨年に比べて二月末で倒産件数は二倍、負債金額は二・五倍に達するという特に昨年陽の当った不動産業、卸小売業者、更に建設業者が多いとき。

政府は公共投資に対しても物価安定のめどがつくまで繰り延べし、民間の設備投資を抑える為金融は更に引き締めを持続すると公表している、設備投資や住宅関係にどんどん金を貸しておいて、今年に入つて金利は高いもので十一%を越え、仕事がなくなつて需要が減りさあ返せと云つたって、誰が返せるものか全く国民を欺すのにも程があると云うものである。

不況下での物価高、来るべきものが来た。遠い避地で降った豪雨（中近東）はどうして期る災害を我々に与へるのか。

今夏の輸入食糧関係がこれから我々生活に更に打撃を与へるのは確実である、『昭和元禄』は去つた、夢よもう一度は何かの変動がない限り再び来ることはないであろう。しかし乍らひたすら思うことは現下の状勢に恐れ戦（オノ）くことなく対処して行かねばならぬ心のゆとりを持つことだと思う。

私達業者も業界の新しい真の生きる理念を探求し、相寄り相扶け合い事業体のもと困難なこれからに勇気をもつて挑戦し、業界を実りあるものにしなければならないと思う。

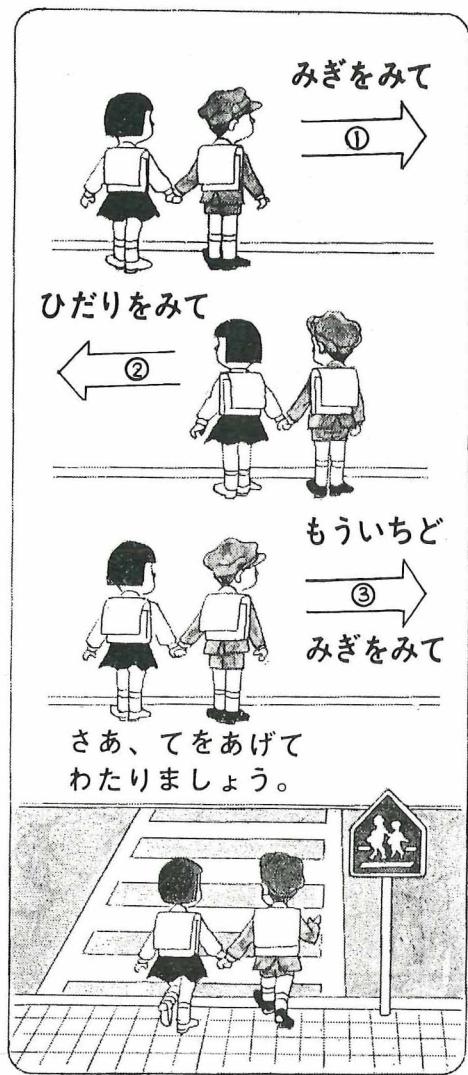


春の交通安全

全道総ぐるみ運動

◆四月六日—四月十五日

新入学（園）児童幼児を交通事故から守ろう!!



人 事 異 動

(昭和49年2月20日付)

新役職名(新所属)	氏名	旧役職名(旧所属)	備考
道央支店送電課長	南条京助	函館支店送電課長	
函館支店経理課経理係長事務取扱	稻場敬一郎	函館支店経理課長	
函館支店送電課長	竹林章	送電幹線建設所第一工事課長	
伊達火力発電所建設所燃料設備課課長代理	高橋正則	函館支店総務課管財係長	
経理部財務課・係長	閑谷政利	函館支店経理課経理係長	
営業部中央給電指令所当直長	清川豪	函館支店函館給電所長	
函館支店総務課管財係長	羽生三郎	送電幹線建設所事務課専門職2等級	
函館支店函館給電所長	添田優	営業部中央給電指令所当直長	
函館支店函館配電所2級営業所配電所長待遇	佐藤義雄	函館支店江差配電所長	
函館支店福島配電所長	鈴木鉄男	函館支店函館配電所	
函館支店江差配電所長	石島森三郎	函館支店福島配電所長	
道北支店北見通信所	山谷広行	函館支店函館通信所	
函館支店総務課管財係	兼平順一	新冠水力発電所建設所事務課	
函館支店七飯電力所保修係	大沢豊	滝川発電所技術課	
函館支店函館通信所	松井清貴	室蘭支店岩清水電力所	
奈井江発電所技術課兼砂川発電所技術課	坂元登	函館支店七飯電力所保修係	

(昭和49年2月28日付)

辞令面	氏名	旧役職名(旧所属)	備考
停年退職	中里清之助	函館配電所副長	
"	滝本八重子	函館営業所業務係	

(昭和49年3月1日付)

新所属	氏名	旧所属	備考
函館配電所	岩村藤太郎	上ノ国電業所長	
"	森清司	相沼内電業所長	
"	高屋敷政則	八雲配電所	
戸井電業所	増山克守	函館配電所	
尾札部電業所長	半沢和美	泉沢電業所長	
落部電業所長	田島光男	福島配電所	
泉沢電業所長	川合正雄	戸井電業所	
上ノ国電業所長	吉野一夫	落部電業所長	
相沼内電業所長	齊藤友春	尾札部電業所長	

(昭和49年3月1日付)

資格	氏名	新所属	備考
特別職員	滝本八重子	函館営業所業務係	

(昭和49年3月11日付)

新所属	氏名	旧所属	備考
立地環境部立地第一課	船越英介	函館支店労務課人事係	
室蘭支店室蘭配電所	齊藤努	函館支店長万部電業所	
函館支店長万部電業所	新谷宏	道央支店国富電業所長	

以 上

明日をつくる技術の東芝
主要扱い商品 照明電材・空調機器
通信システム商品

函館電設営業所

東芝商事株式会社

040
函館市大繩町二十二番十四号
電話 函館 ④1二二四一

新しい住まいづくり

松下電工株式会社 函館営業所

函館市昭和町三九六の一
電話 函館 ②五八二一

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市海岸町一五の一九
電話 ④1一三一三

全道随一の照明設備センター
電設機器資材の総合電機卸

函館出張所

大興電機株式会社

本社 函館市千才町五の十
照 明 電 話 (代) ②六二一一
出張所 札幌 八雲 (代) ②七一四四八三
電 話 (代) ③〇二一 (代表)

綜合卸商

隆東電機株式会社

函館市大繩町一番四号
電話 ②六二二一六

未来を開発する

三菱電機株式会社

株式会社 佐久間電気商会
電設資材総合卸商社
取締役社長 佐久間正明

本社 函館市豊川町二二の八
TEL (0120) 二二二二九二二一
室蘭 苦小牧市末広町七番地
TEL (0130) 四一四二三七
大代表

明日をひらく
電設資材の総合卸商社

株式会社 工ミヤ商會 函館出張所

函館市豊川町七番二八号
本社・札幌支社・東京営業所・釧路
出張所 苦小牧

電気工事材料

石垣電材株式会社 函館出張所

本社 〇三〇 札幌市中央区北一条西二丁目一番地
本店 〇三〇 苦小牧市末広町七番地
TEL (0120) 二二二二九二二一
出張所 〇三〇 函館市八幡町二〇番一
TEL (0120) 四一四二三七
大代表